# 青森・岩手県境不法投棄に係る調査概要とその結果

〈平成１２年度〉
**汚　染　実　態　調　査**

・事業場の地形及び廃棄物の概況調査
・電気伝導度測定調査
・表層ガス調査
・ボーリング調査（８地点）

・周辺環境影響調査（水質モニタリング調査）

〈平成１３年度〉
**汚 染 実 態 追 加 調 査**

・地下水流向流速調査（岩手県合同調査）
・空中物理探査（現場一体調査）
・高密度電気探査
・ボーリング調査（７地点）

・周辺環境影響調査（水質モニタリング調査）

（平成１２年度）
**汚　染　防　止　対　策**

・ＲＤＦ様物の撤去（約２，６００トン）
・堆肥様物の移替え（堆肥化施設へ）
・堆肥様物仮置場の整備

（平成１３年度）
**汚　染　防　止　対　策**

・堆肥様物の移替え（約３万トン）
・堆肥化施設及び堆肥置場覆土

**〔調査結果の概要〕**

① 主な廃棄物は、焼却灰、堆肥、汚泥、ＲＤＦの４種類
② 不法投棄廃棄物の推定量は、約６７万$m^3$
③ 現場全体において、揮発性有機塩素化合物による汚染を確認
④ 堆肥様物からの汚染水は、不透水層の上部で拡散
⑤ 周辺環境の水質調査の結果、環境基準を概ね満足
⑥ ダイオキシン類による高濃度汚染廃棄物を一部確認
⑦ 現場内に数万年前の小規模な地すべりの可能性
⑧ 町の旧水道水源の電気伝導度が上昇傾向で推移

**〔専門家提言内容〕**

① 囲い込みによる汚染拡散防止対策を講ずること
② 現場からの汚染水処理のための水処理施設を整備すること
③ 現場内の地盤の透水性を十分把握すること
④ 高濃度汚染廃棄物量等の把握調査を行うこと
⑤ モニタリング調査を継続して実施すること

（平成１４年度）
**原　状　回　復　対　策　調　査**

① 地形測量；現場周辺測量
② 水処理施設調査；基礎地盤の地質調査（鉛直ボーリング等）
③ 地盤透水性調査；地盤の性状調査（鉛直、斜めボーリング等）
④ ダイオキシン類調査；汚染分布調査（鉛直ボーリング調査等）

**〔総合評価〕**

① 水処理施設予定地は、軟弱地盤が多いため、施設の位置を検討しながら建設
② 現場の地盤は底面遮水層として利用可能であることから、汚染拡散防止対策としての遮水壁は効果的
③ 高濃度ダイオキシン類周辺は、基準値以下

**〔合同検討委員会意見概要〕**

**① これまでの調査内容は、信頼性の高いものであると評価する**
**② 汚染拡散防止としての遮水壁の敷設は効果的であるので、早急に実施すべきである**

平　成　１４　年　度

**原状回復基本計画策定**　→　原状回復基本設計

平　成　１５　年　度

原状回復実施設計　→　直　接　工　事
（水処理施設・撤去作業）